
事業担当別活動状況

総 務 関 係

〔監 査〕

上半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)については、平成26年10月39日(木)に、下半期(平成26年10月1日～平成27年3月31日)については平成27年4月20日(月)に監事の方にて監査が実施された。

〔登 記〕

平成26年5月29日(木)の定時総会開催後、登記事項に関して、平成26年7月7日(火)東京法務局にて登記を完了した

〔定時総会〕

平成26年度の定時総会は、平成5月29日(木)東京大手町レベル21東京會館に於いて15時より定時総会が開催された。

主要議案としては平成25年度の事業総括及び平成26年度の事業計画及び予算、任期満に伴う役員改選や定款の一部変更等についてであった。総会終了後は業界のトップコミュニケーションの場として懇親会を開催した。

以下に議事録を掲載する。

議 案 【報告事項】

- 第1号議案 平成25年度事業報告に関する件
- 第2号議案 平成26年度事業計画並びに収支予算の件
- 第3号議案 会員の動向に関する件

【決議事項】

- 第1号議案 平成25年度決算報告の件
- 第2号議案 定款変更の件
- 第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件

【一時中断】

- 第4号議案 会費の額及び徴収方法の件
- 第5号議案 その他

出欠状況 会員総数 130社中 出席会員 32社 委任状出席 85社 合 計 117社
出席賛助会員 96企業 事業所会員 2名

来賓出席 農林水産省食料産業局食品製造卸売課 課長 長井 俊彦 殿

〃 課長補佐 平山 治 殿
〃 係長 上田 麻由子 殿

開 会 定刻により奥山専務理事の司会により開会。

事務局はここで本日の定足数の確認と報告をし、会の成立と共に、定款第15条により会長を議長に推薦し満場一致で選出、会長は議長席に着席した。

議長は早速議案の検討に入った。

【報告事項】

第1号報告 平成25年度事業報告の件

第2号報告 平成26年度事業計画並びに収支予算の件

第3号報告 会員の動向に関する件

議長は事務局に対し、第1号報告から第3号報告までまとめて報告するよう指示があり、専務理事より主な事柄について手元に配布された資料に則り、次の内容を説明、また、平成26年度事業計画案について宮田政策委員長より説明がなされ、4月14日に年間の業務監査を受けた事も報告する。

- ①消費税の増税に関する対応について
- ②食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチームについて
- ③食品トレーサビリティについて
- ④ハラル食品およびハラル認証について
- ⑤食品事業者の震災を対象としたBCPについて
- ⑥食品廃棄物等の発生抑制の目標値に関する件について
- ⑦卸売業の人材育成と能力評価基準について
- ⑧外国人旅行者向けの消費税免税制度改正について
- ⑨加工食品卸売統計調査について
- ⑩情報処理コストの実態調査について
- ⑪関東支部流通業務委員会での調査事項について

また、本日の理事会にて、九州大分県別府市の(株)豊豫物産が入会の承認を受けて、現在の会員数は 正会員130社・事業所会員107事業所・賛助会員131社・団体賛助会員3社となっている事を報告する。

【決議事項】

第1号議案 平成25年度決算報告の件

議長より、事務局に対し、第1号議案について報告するよう指示があり、専務理事より決算内容及び公益目的支出計画実施報告書の提出について手元に配布された資料に則り報告する。

議長はここで監事に監査報告を求め、味の素株式会社品の品田監事は「去る4月14日に監事2名にて行われた監査の結果、業務報告を受け財務諸表及び帳票・証憑につき、適法正確に処理され報告の事

実と相違ないものと認めました。また、公益目的支出計画実施報告書についても実施状況を正しく示していることを認めました。」と報告がなされた。

議長は当該決算報告について承認を求め、拍手をもって異議なく承認された。

第2号議案 定款変更の件

議長より、事務局に対し、第2号議案である定款の変更について報告するよう指示があり、専務理事より定款の変更内容について手元に配布された資料に則り報告する。

議長は議案の定款変更について承認を求め、拍手をもって異議なく承認された。

第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件

議長より、定款の定めにより本定時総会の終結をもって理事及び監事が任期満了となり改選の必要があるが、事前に事務局より役員各位にご意向を伺わせたところ、一部の方から会社人事の都合により役員交代の申し出があった事を説明し、事務局より詳細を報告するよう要請する。

それを受け事務局より理事・監事の全候補者案について報告を行った。

退任理事			新任理事		
(株)サンヨー堂	宗像 善昌	理事	(株)サンヨー堂	島垣 研二	理事
加藤産業(株)	加藤 武雄	理事	加藤産業(株)	加藤 和弥	理事
中村角 (株)	中村 成朗	理事	藤徳物産(株)	大恵 和夫	理事
ヤマエ久野(株)	出森 義人	理事	ヤマエ久野(株)	田村 哲丸	理事
(株)日本アクセス	堀井 壯一郎	理事	(株)日本アクセス	宮田 敏晴	理事
伊藤忠食品(株)	青山 裕一	理事	伊藤忠食品(株)	星 秀一	理事

また、退任理事以外の理事及び監事は再び選任することとなる。

報告を受けた議長は事務局案の承認を求め、拍手を以って異議なく承認された。

従って本年度は、23名の理事及び2名の監事、合計25名の役員による運営体制になる事を説明し、会員各位の尚一層の協力をお願いした。

なお、再任についても異議なく承認され、被選任者全員がその就任を承諾した。

ここで、総会を一時中断し、役員一同は別室にて理事会を開催して代表理事の後任人事を検討し全員一致で、國分理事の会長就任と、濱口理事、田中理事、井上理事の副会長就任、および奥山理事の専務理事就任を申し合わせた。

これにより、國分会長・濱口副会長・田中副会長・井上副会長・奥山専務という、今年度の新執行役員体制を総会に報告する事にした。

ここで定時総会を再開。

事務局より先ほどの理事会で決まった今年度の新執行役員体制を、書面により会場の出席者に対し配布し報告を行った。

第4号議案 会費の額及び徴収の方法の件

議長より今年度の会費の額及び徴収方法について、事務局から説明するように指示があり、額に関しては、一昨年自主申告いただいた売上額に基づく会費区分にて算定した額と同額を、また徴収方法については

- ①年額一括
- ②銀行振込み
- ③振込手数料は会員各位負担
- ④納付期限 平成26年 6月30日(月)

であることを専務理事が説明し、出席者の拍手を持って承認された。

第5号議案 その他

議長から、以上を持って本日用意した議案は滞りなく終了したが、他に何か意見や質問等があったら申し述べるよう伝えたが何も無かったので、本日出席されている三人の退任役員から、順次挨拶するようお願いし 中村・堀井・青山の3氏から、今日までのご協力に対して御礼の挨拶があった。

議長より長時間の審議に対する御礼と、濱口理事より閉会の挨拶があり16時10分 定時総会は無事閉会された。

[理事会]

平成26年度は理事会を5回開催した。

第1回から第4回の理事会は既に会報に掲載済み。

以下に第5回の理事会議事録を収録する。

◆第5回 理事会 平成27年3月27日(金)

- | | | |
|-----|-------|-------------------|
| 議 案 | 第1号議案 | 平成27年度事業計画案に関する件 |
| | 第2号議案 | 平成27年度収支予算案に関する件 |
| | 第3号議案 | 会員動向に関する件 |
| | 第4号議案 | 中国支部と四国支部の統合に関する件 |
| | 第5号議案 | 理事定年制に関する件 |
| | 第6号議案 | その他 |
- (1)公益目的支出計画の実施完了の確認書について
 - (2)公正取引委員会による「流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針」の一部改正(案)についてのパブリックコメントの提出について
 - (3)その他

定刻になり奥山専務理事の司会により配布資料の確認したのち開会。

冒頭に國分勘兵衛会長が次の如く挨拶を行った。

本日は、年度末のお忙しい中、またご遠方からも、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

農林水産省様からは公務ご多用のため、食料産業局食品製造卸売課の大豆生田調査官様はおいで頂けませんでした。平山課長補佐様をはじめ、幹部の方にご来臨を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

また、本日ご参集の皆様方には、日頃から当協会の活動につきまして、格別のご指導、ご協力を賜っております事をこの席ではありますが厚く御礼申し上げます。特に、支部活動の重責を担っていただいております理事の皆様には、地域活動の活性化にご努力をいただいておりますこと、誠に有難く深く感謝申し上げます。



理事会で挨拶する
國分勘兵衛会長

さて本日は、新事業年度の事業計画案、収支予算案などにつきましてご審議をいただきたくご参集をお願いいたしました。新公益法人制度では暫定予算制度はありませんので定款第36条に基づき毎事業年度の開始日の前日までに理事会でご承認いただくことが必要となりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

アベノミクスの第3の矢である成長戦略は、法律の改正や規制緩和などの仕掛けが徐々に整いつつあり、また大手企業では大きなベースアップがあると報道されておりますが、効果がでるまでにどうしてもタイムラグがございまして、我々が期待するような消費が拡大する好循環サイクルまではもう少し道のりがあるかと感じております。最終目的は、消費の活性化と地方創生活活性化でありますので、我々自身のネットワーク機能やマッチング機能を発揮してまいりたいと思っております。食品業界が担うべき仕事、貢献すべきことはまだまだ沢山あるものと考えています。また、食品業界のアベノミクス成長戦略は、適正価格による公正な取引推進にこそあると考えておりますので、メーカーの価格改定を絶好の機会として卸の経営基盤を強化してまいりたいと思います。また、今年度は延びましたが、消費再増税が来々年度に行われるということでもあります。来たるべく消費再増税、軽減税率制度に備える事が肝要かと考えております。

また流通業界では再編の動きが加速度を増して進展いたしておりますが、消費者の消費行動は増税の影響もあって価値と価格のバランスを冷静に見極めるような行動になってきておりますので、規模拡大による効率化だけの追求ではなく、消費動向をきめ細かく分析して魅力的な商品を開発して、新しい需要を掘り起こして多様性に対応していくような地道な努力が必要ではないかと考えております。卸からの知恵を絞った提案機能もますます重要になっていくものと思います。

本日は、今年度の食品業界の課題等について事務局から報告させていただきますが、そういった課題に対応した事業計画案を審議して参りたいと考えております。また会員卸の減少等から支部活動の再編統合や協会運営の要であります理事の定年制度につきましてもお諮りいたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。申し上げます私からの開会のご挨拶とさせていただきます。

続いて、司会者より本日の来賓者を紹介する。

農林水産省食料産業局製造卸売課 課長補佐 平山 治 様
係長 上田 麻由子 様

引き続き来賓を代表して、農林水産省食料産業局食品製造卸売課 平山課長補佐が平素の農林水産行政推進への協力に対し謝意を述べられ

①介護食品「スマイルケア食」と「ロゴマーク」について

②食品表示法、食品表示基準について

の二点について農林水産行政の立場から現在の状況を説明された。

続いて 事務局より本日の出席状況が下記の如く報告され

出欠状況 理事総数 23名 出席理事19名 ・欠席理事 4名

監事総数 2名 出席監事 1名 ・欠席監事 1名



理事会にて挨拶する
農林水産省食料産業局製造卸売課
平山治課長補佐

ここで本日の会は定款第32条の定めにより定足数を満たして適法に成立することが事務局より報告され、これと共に定款第31条の定めにより会長を議長にお願いすること、また定款第33条の議事録と記名押印者の説明をして審議に入った

第1号議案 平成27年度事業計画案に関する件

第2号議案 平成27年度収支予算案に関する件

議長より、第1号議案と第2号議案は関連があるので一括して報告するよう指示があり、事務局は手元に配布された資料に則り事業計画案・収支予算案のポイントを説明する。

議長は、事務局より報告の有った第1号・第2号議案に対し質問・意見等求めたが、異議なく拍手を以って承認された。

第3号議案 会員動向に関する件

事務局は正・事業所・賛助・団体賛助 それぞれの会員数について現在の状況を説明、また この度、九州地区および関東地区における正会員の新規加入申し込み先の審議をお願いし、全員から承認を得た。

第4号議案 中国支部と四国支部の統合に関する件

事務局は、「平成27年度より会員卸企業の減少から、支部組織を再編し、中国支部と四国支部を統合して、中・四国支部とする。尚、中・四国支部の事務局業務は、現状の会員数から旧中国支部事務局が担うこととする。」という議案の趣旨を説明し異議なしの声で承認された。

第5号議案 理事定年制に関する件

事務局は

1. 目的:協会の円滑な組織運営と組織の活性化を目的に、理事の定年制度を定める。
2. 理事の定年について:役員改選年度の定時総会日において満75歳以上の人は定年とする。

(平成28年度の定時総会時における改選から適用する)

という理事会の内規について説明し、全員から承認を得た。

第6号議案 その他

議長より、その他に事務局から連絡事項を報告するよう指示があり、事務局は定款第22条第5項に規定されている会長・副会長及び専務理事の職務執行状況の報告についてこの理事会における事業報告をもってこれにあてる旨を説明し、

- ①公益目的支出計画の実施完了の確認書について
 - ②公正取引委員会による「流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針」の一部改正(案)についてのパブリックコメントの提出について
 - ③「トラック運送業における下請・荷主適正取引推進ガイドライン」改正への対応について
 - ④「物流問題を検討する会」の開催と「入荷受付記録簿・日食協標準様式」について
 - ⑤ ハラル食品輸出に向けた「手引き」について
 - ⑥「改正フロン法」への対応について
 - ⑦ 一般社団法人日本ボランタリーチェーン協会認定「スーパーバイザー養成講座」について
 - ⑧「第2回食品産業もったいない大賞」について
 - ⑨ 今後のスケジュールについて
- 以上の事柄に関して報告を行った。

議長は、ほかに意見等が無いので13時30分に全ての議事を終了した。

以上の決議を明確にするため本議事録を作成し、議長、出席監事が記名捺印する。

平成27年3月27日

一般社団法人日本加工食品卸協会理事会において

議長代表理事	國 分 勘 兵 衛
出席監事	品 田 英 明



理事会会場

[正副会長会議]

理事会に先立ち年3回開催し、当日の理事会の議案内容や業界の課題について意見交換を行った。また専務理事から会長に定期的に業務報告が行われご意見をいただいた。

◆第1回 正副会長会議 平成26年4月17日(木)

4月17日(木)午前10時30分より、理事会に先立ち正・副会長会議が開催された。

当日に行われる理事会の内容確認が主な議案であるが、決算内容や任期満了に伴う役員候補者案に加え、特に今回は公益目的支出計画実施報告書における公益目的財産額が1年前倒しで超過し平成25年度末を持って完了報告書を提出すること等について確認した。

◆第2回 正副会長会議 平成26年11月7日(金)

平成26年11月7日(金)東京アーバンネット大手町ビル東京會館に於いて午前10時30分より正・副会長会議を開催し、この後行われる理事会の運営内容について確認を行った。

◆第3回 正副会長会議 平成27年3月27日(金)

3月27日(金)午前10時30分より、理事会に先立ち正・副会長会議を開催した。

当日行われる理事会の内容の確認が主な議案であるが、流通再編が進展する中での協会活動について活発な意見交換がなされた。

本部事業活動

[政策委員会／食品取引改善協議会／消費税転嫁・表示カルテル推進協議会]

◆第1回 平成26年5月13日(火)

平成26年度第1回目の政策委員会・食品取引改善協議会を5月13日(火)午前10時30分より日本橋三越本店本館7階特別食堂「日本橋」にて開催した。宮田政策委員長の挨拶の後、議題に入り、①理事会報告②清涼飲料の賞味期限の「年月表示」への移行に関する件③複数税率(軽減税率)導入について(東京商工会議所)④消費税転嫁・表示カルテル推進協議会の事案確認⑤厚生労働省作成の卸売業の「キャリアマップ」「職業能力評価シート」及び「導入・活用マニュアル」について⑥工場渡し価格の要請について⑦「アジア・シームレス物流フォーラム2014」の開催について⑧経済連携協定(EPA)の原産地規則に関する説明会の開催について⑧賛助会員幹事店会の運営について等について議論した。

◆第2回 平成26年10月22日(水)

今年度第2回目の政策委員会兼食品取引改善協議会を10月22日(水)午前9時半より日食協会議室に於いて開催した。主要な議題は、上半期を終了しての事業活動総括と下半期に向けての事業検討であったが、特に11月に開催予定の賛助会員幹事店会でのメーカー各位との意見交換テーマについてと価格改定時における卸マージンの内容について検討を行った。

【主要上半期活動報告】

- ①与党税制協議会の業界ヒアリングについて
 - ・日食協の消費税の軽減税率に関する要望について
- ②食品分野におけるプライベート・ブランド商品の取引に関する実態調査報告書と取引の適正化の推進について
- ③平成27年度税制改正等に関する要望書について
- ④日本即席食品工業協会に対する物流合理化に関するお願いについて
 - ・物流合理化懇談会の開催について
- ⑤「食品ロス削減のための商慣習検討W・G」の開催内容について
 - ・今後の食品リサイクル制度のあり方について
 - ・天気予報で物流を変える(事業主体:日本気象協会)
- ⑥2014年自主行動計画(低炭素社会実行計画)の環境数値について
- ⑦平成26年度情報システム研修会の内容について
- ⑧経理業務標準化協議PJ委員会について
- ⑨食品取引改善協議に関する件
- ⑩消費税税転嫁・表示カルテル推進協議会に関する件
- ⑪賛助会員幹事店会の意見交換テーマに関する件
- ⑫今後の日程に関する件

◆第3回 平成26年11月21日(金)

平成26年11月21日(金)午前10時30分より日本橋三越本店特別食堂会議室に於いて本年度第3回目の政策委員会兼食品取引改善協議会を開催した。主な議題は、11月に開催された理事会の報告や食品表示法の改正に伴う業界対応、復興庁からの「販路開拓支援チーム」の立ち上げに関する事等であった。また「消費税転嫁・表示カルテル推進協議会」では特に課題となる事案がないことも確認した。

◆第4回 平成27年3月24日(火)

午後3時より日食協会議室にて開催。主要な議題は、平成26年度の事業総括と平成27年度の事業計画案・予算案・組織案や賛助会員幹事店会の意見交換テーマ等についての検討であった。また消費税転嫁対策表示カルテルに関する事案についても確認を行ったが、特に検討する事案はなかった。

【賛助会員幹事店会】

◆第18回 賛助会員幹事店会 平成26年5月13日(火)

第18回賛助会員幹事店会を5月13日(火)午前11時30分より日本橋三越本店特別食堂「日本橋」にて開催した。

会議は冒頭日食協の政策委員長宮田善康氏(三菱食品(株))が開会の挨拶を述べ、次いで賛助会員幹事企業を代表して味の素(株)の梅澤忠徳氏からご挨拶をいただいた。次いで議案に入り、最初に奥山専務理事から3、4月に開催された理事会の内容についての報告を行った。その後意見交換テーマに入り「消費税増税の影響と対応策」について出席メーカーから各企業の状況について発表がなされ

た。各社とも仮需の発生や反動減はともに概ね想定内の動きではあるが、今後は値ごろ感を求めて消費者がどのような消費活動を行うか不透明で新商品や販促策で流通ともども対応策を模索するとの発表が多くなされた。

◆第19回 賛助会員幹事店会 平成26年11月21日(金)

第19回賛助会員幹事店会を11月21日(金)午前11時30分より日本橋三越本店特別食堂会議室にて開催した。

会議は、冒頭日食協の政策委員長宮田善康氏(三菱食品(株))が開会の挨拶を述べ、次いで賛助会員幹事企業を代表して味の素(株)の梅澤忠徳氏からご挨拶をいただいた。次いで議事に入り、奥山専務理事から11月7日に行われた理事会の概要報告を行った。その後「意見交換テーマ」に入り、今回は「メーカー各社の価格改定動向に関して」という内容で出席各社から発言がなされた。

[環境数値算定標準化協議会]

◆第1回 平成26年4月21日(月)

[議題]

- ①平成25年度食品ロス削減のための商慣習検討WT取りまとめについて
- ②食品廃棄物等の発生抑制の目標値について
- ③2014年度電力需要抑制の対策(案)について
- ④九州国分(株)におけるカーボンニュートラルの取り組みについて
- ⑤防災・復興キャンペーンの後援名義協賛について

◆第2回 平成26年10月2日(木)

[議題]

- ①2013年度自主行動計画(低炭素社会実行計画)についての調査票提出について
- ②「第2回食品産業もったいない大賞」募集要項について
- ③食品産業の地域温暖化・省エネルギー対策促進事業の研修会について